
校長デービル

雛祭パペ彦

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

校長デービル

【Nコード】

N8053A

【作者名】

雛祭パペ彦

【あらすじ】

私は、校長である。学校で1番エライのである。いわば王様である。むしろ神に近い存在なのである。

3年生の諸君。卒業おめでとう……と言いたいところですが、その前に、君たちに苦言を呈したい。

いつだったか、ある3年生が、校長である私と、廊下ですれ違ったにもかかわらず、一言の挨拶もせずに立ち去ろうとした事件がありました。

実に、けしからん！

君たちは、学校長というものを、いったい何だと思っているのか？
言っておきますが、校長先生というのは、かなり偉いです。ヒラの教師の100億万倍くらいエライのです。

この学校では、校長である私が一番エライのです。いわば王様です。むしろ神と言ってもいいくらいの存在です。

その神にも等しい私とすれ違ったにもかかわらず、挨拶のひとつもしないとは何事だ！

将来、県の教育長になるかもしれない私に向かって、挨拶をしないとは何事だ！

教育長を3期ほど務めたあとに参議院選挙に出馬して当選して、議員を8期ほど務めたあとに、もしかしたら総理大臣に指名されるかもしれない私に対して、一言の挨拶も無いとは何事だ！

と、まあ、お説教はこれくらいにしておきましょうか。

で、話はガラッと変わりますが、昨今、地球環境に配慮したりサイクル活動が盛んであります。

そこで、ぜひ、我が校でも「セーラー服」および「ブルマー」および「スクール水着」の再利用を実施することになりました。私の

独断で決めました。

というわけなので、卒業する女子生徒の諸君は、どうせ捨ててしまっ「セーラー服」および「ブルマー」および「スクール水着」を、ただちに校長室まで持ってきて下さい。

あ、洗濯とかクリーニングなどの気遣いは無用です。

特に、ブルマーに関しましては、本日の下校時に、校長室で脱いでいただいて、あは、その場で渡してもらえれば結構です。

あとは、私が一括してクリーニング店に持って行きますので、えへへ、くれぐれも洗濯したものなんかを持ってこないで……じゃなくて、わざわざ洗濯する必要はありません。

えーと、次に、突然ではありますが、抜き打ちの卒業テストを行います。

テストといっても、たったの1問です。

私こと学校長の名前を、フルネームで答えて下さい。

なお、不正解の生徒は、即・留年が決定します。

わははは！ 私のフルネームも答えられない生徒を、卒業させてたまるものか！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8053a/>

校長デービル

2010年12月3日06時00分発行